

みんなの あしたに ハッピーを

Coca-Cola **West**

コカ・コーラウエスト株式会社 会社説明会

2016年2月

証券コード 2579（東証1部、福証）

I. コカ・コーラウエストグループ …P2

- コカ・コーラウエスト株式会社 会社概要
- 企業メッセージ／企業理念
- コカ・コーラウエストの歩み
- キューサイ株式会社 会社概要
- コカ・コーラウエストグループについて
- コカ・コーラウエストグループ 成長シナリオ

II. 清涼飲料事業 …P9

- 成長する日本の清涼飲料市場
- メーカー別販売数量
- 「コカ・コーラ」について
- 日本のコカ・コーラのしくみ
- 日本のコカ・コーラボトラー
- 当社のマーケットシェア
- 地球環境保全の取組み
- 地域環境推進活動
- 地域社会貢献活動

III. ヘルスケア・スキンケア事業 …P21

- 成長する健康食品市場および化粧品市場
- キューサイグループ 営業活動の状況

IV. 連結業績、配当・株主優待 …P24

- 連結経営目標
- 連結業績の推移
- 連結貸借対照表・格付情報
- 配当金
- 株主優待制度

Ⅰ. コカ・コーラウエストグループ

(2015年12月末現在)

- ▶ 商号 コカ・コーラウエスト株式会社
- ▶ 本社所在地 福岡市東区箱崎七丁目9番66号
- ▶ 設立 1960年12月20日
- ▶ 資本金 152億円
- ▶ 従業員数(単体) 1,620名
- ▶ 上場証券取引所 ・東京証券取引所(市場第一部)
 ・福岡証券取引所

▶ 従業員数(連結)

清涼飲料事業	8,257名
ヘルスケア・スキンケア事業	580名
合 計(連結)	8,837名



■ 当社の位置づけ(2014年)

- ・ 世界の上場ボトラー 売上高 **7**位
(出典:各社ホームページ)
- ・ 世界の清涼飲料企業ランキング 売上高 **15**位
(出典:Beverage World 2014)

企業メッセージ

みんなの あしたに ハッピーを

Coca-Cola West

あらゆるステークホルダーに対して

ハッピーを提供していく、
という思いを込めています。

企業理念

飲料を通じて
価値ある「商品、サービス」を提供することで、
お客さまの
ハッピーでいきいきとしたライフスタイルと
持続可能な社会の発展に
貢献します。

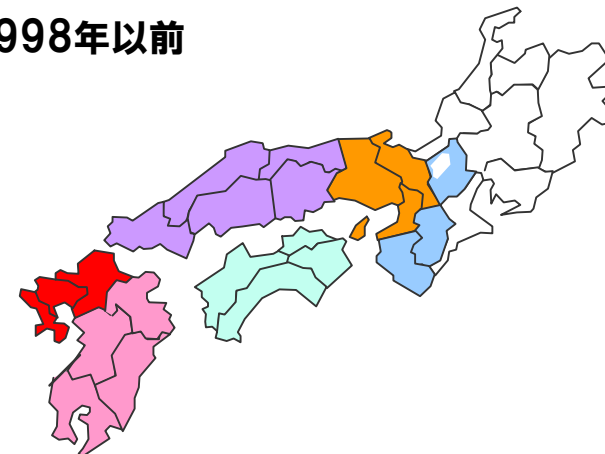
お客さまの多様なライフスタイルにおいて、
おいしさ・楽しさ・健康・やすらぎなど、
人々が前向きに生きるための心身の豊かさ
（＝ハッピー）に貢献すること、
環境保全への貢献や地域社会との共生を
事業活動の中で強く意識し、
持続可能な社会の発展に貢献すること、
をあらわしています。

コカ・コーラウエストの歩み ～統合・合併による拡大～

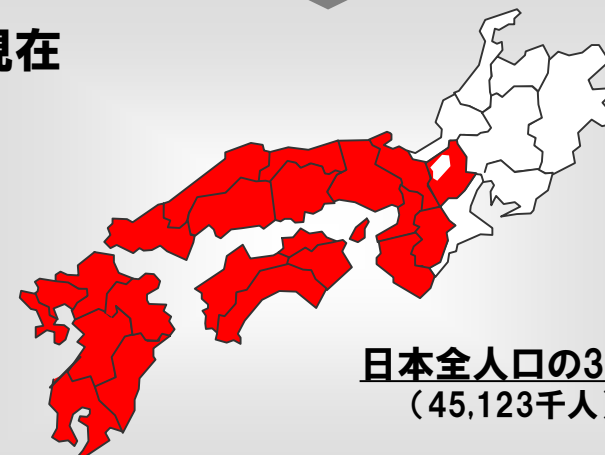
6つのボトラーが統合・合併し、世界有数の規模を持つボトラーに
また、キューサイの株式100%を取得し、事業領域を拡大

- ◆1960年 会社設立(日米飲料、のちの北九州コカ・コーラ)
- ◆
◆1999年 北九州コカ・コーラと山陽コカ・コーラが合併
→コカ・コーラウエストジャパン(CCWJ)が誕生
- ◆2001年 三笠コカ・コーラ(三笠)を子会社化
- ◆2006年 CCWJと近畿コカ・コーラ(近畿)が経営統合
→持株会社 コカ・コーラウエストホールディングス
(CCWH)が誕生
- ◆2007年 南九州コカ・コーラ(南九州)と資本業務提携
→南九州を持分法適用会社(20%出資)
- ◆2009年 CCWH、CCWJ、近畿、三笠が合併
→コカ・コーラウエスト(CCW)が誕生
- ◆2010年 キューサイを100%子会社化
- ◆2013年 南九州を100%子会社化
- ◆2014年 CCWと南九州が合併
- ◆2015年 四国コカ・コーラを100%子会社化

1998年以前



現在



日本全人口の36%
(45,123千人)

(2015年12月末現在)

- | | |
|---------|-------------------|
| ▶ 商号 | キューサイ株式会社 |
| ▶ 本社所在地 | 福岡市中央区草香江一丁目7番16号 |
| ▶ 創業 | 1965年10月 |
| ▶ 資本金 | 3億円 |
| ▶ 従業員数 | 580名 (キューサイグループ) |

■ キューサイグループの使命

経営理念

我々キューサイグループは、良質安全な
商品とサービスを以て、
健康と幸せを世の中に提供します。
又 その行為を通じ、外部に於ては取引先、
内部に於ては株主・社員への経済的責任を
果たします。

グループビジョン

いくつになっても「元気でいたい」「美しくありたい」
そして「人生を精一杯楽しみたい」と
願う人々のために
品質No.1の商品とサービスを
提供する企業であり続ける。

コカ・コーラウエストグループは、
清涼飲料事業、ヘルスケア・スキンケア事業の2つの事業を展開

コカ・コーラウエストグループ

清涼飲料事業

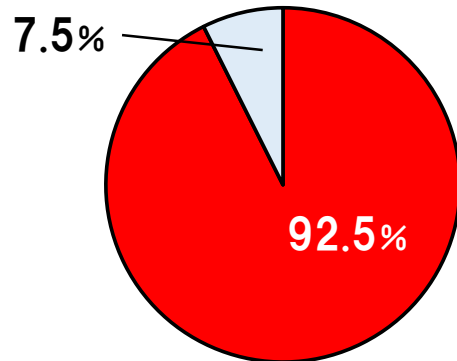
- ・コカ・コーラウエスト株式会社
- ・四国コカ・コーラボトリング株式会社
- 他 11社

ヘルスケア・スキンケア事業

- ・キューサイ株式会社
- ・日本サプリメント株式会社 他3社

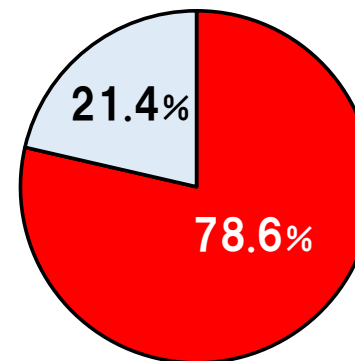
2015年 売上高:4,404億円

- 清涼飲料事業 : 4,076億円
- ヘルスケア・スキンケア事業 : 328億円



2015年 営業利益:142億円

- 清涼飲料事業 : 112億円
- ヘルスケア・スキンケア事業 : 30億円



清涼飲料事業、ヘルスケア・スキンケア事業のそれぞれにおいて成長を図る。
両事業のコラボレーションにより、新たな成長機会を創出する。

企業価値の向上

お客さまの
ニーズに対応

株主さまへの
還元

地域社会・
環境への貢献

社員の働きがい
向上

売上高・利益の拡大

飲料

健康

その他

清涼飲料事業

Coca-Cola West

コラボレーション

ヘルスケア・
スキンケア事業

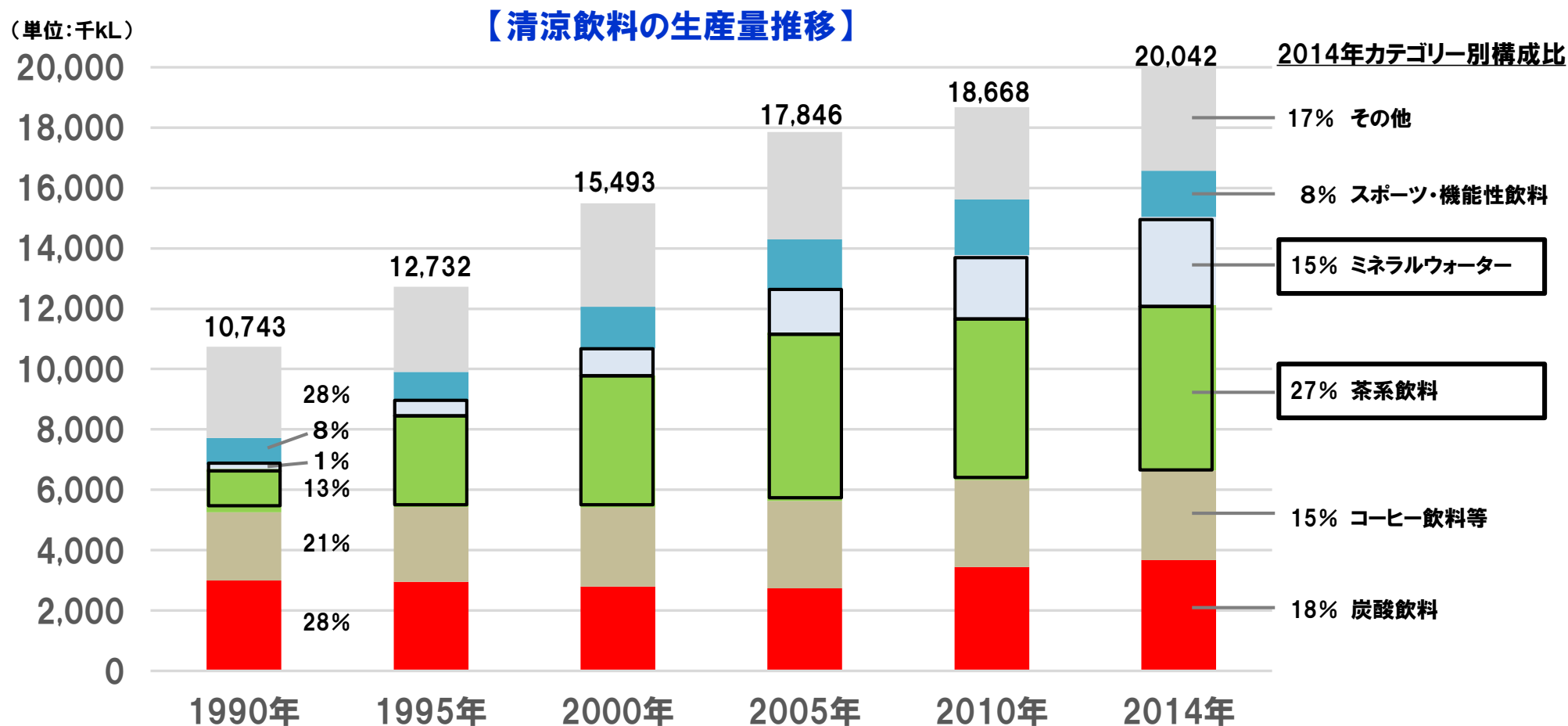
キューサイ®

サポート

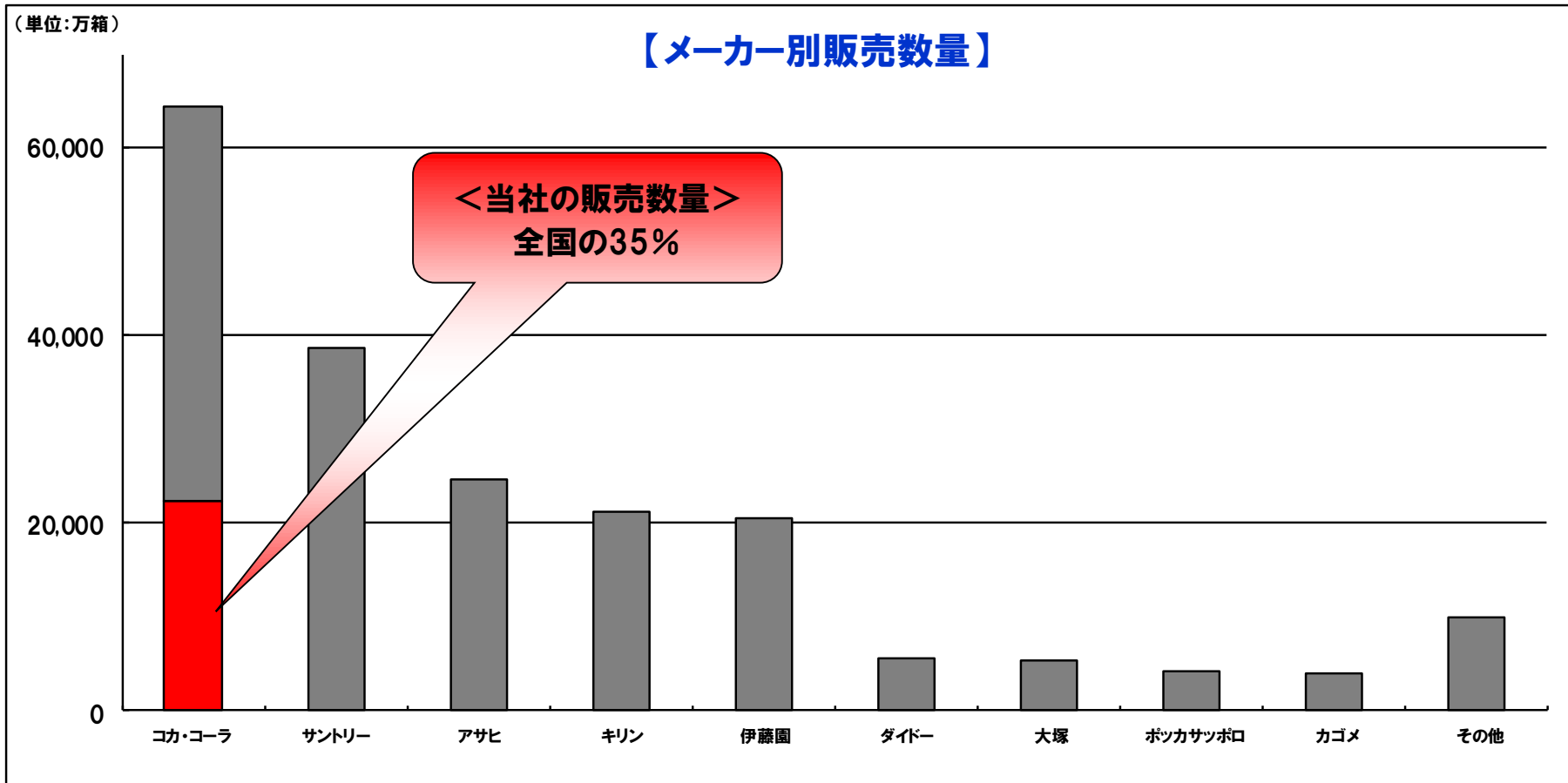
The Coca-Cola Company *Coca-Cola (Japan) Company, Limited*

II. 清涼飲料事業

清涼飲料市場は1990年以降、約1.9倍に成長
茶系飲料、ミネラルウォーターが市場成長をけん引



コカ・コーラ社の販売数量は日本の清涼飲料業界で No.1



出典：飲料総研YearBook2015年および当社データ

「コカ・コーラ」について

■ コカ・コーラ社の商品

- コカ・コーラは、1886年アメリカ ジョージア州 アトランタで誕生（誕生から130年）
- コカ・コーラ社商品は、全世界で1日に約19億杯※消費（※1杯＝約237ml）
- コカ・コーラのびん(コンツアーボトル)が立体商標として認定（2008年5月）
- 環境に配慮したPETボトル容器「ecoるボトル しぼる」

■ ブランド「コカ・コーラ」

- コカ・コーラのブランド価値（約9.4兆円）
- コカ・コーラとオリンピック
- コカ・コーラとサンタクロース



2020年
東京オリンピック



コカ・コーラとサンタクロース



立体商標が認められた
コンツアーボトル



簡単にしぼって、つぶせる容器

コカ・コーラのしくみはフランチャイズシステム

日本コカ・コーラ※¹（フランチャイザー）

※¹ 米国 ザ コカ・コーラ カンパニーの100%出資会社

企画
（商品・マーケティング）

研究開発

原液製造



ボトラー（フランチャイジー※²）

※² 地域独占販売権を与えられた会社



日本では、ボトラーが各営業地域で密着した事業活動を展開

<各ボトラーの営業地域>

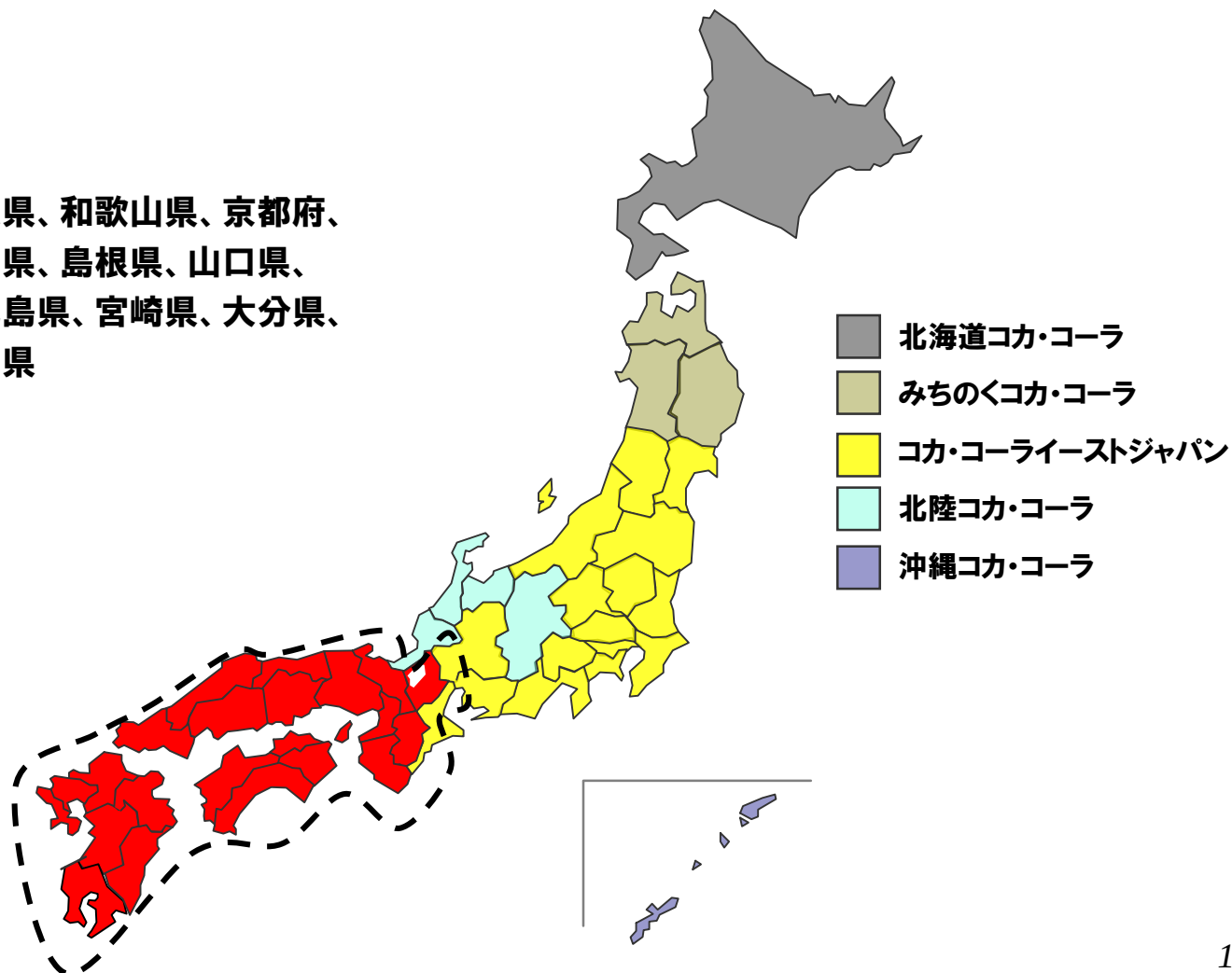
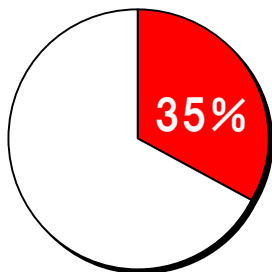
■ コカ・コーラウエストグループ

・ 営業地域(2府20県)

福岡県、大阪府、滋賀県、奈良県、和歌山県、京都府、
兵庫県、岡山県、鳥取県、広島県、島根県、山口県、
佐賀県、長崎県、熊本県、鹿児島県、宮崎県、大分県、
香川県、徳島県、愛媛県、高知県

・ 販売数量

日本の全ボトラー合計の35%



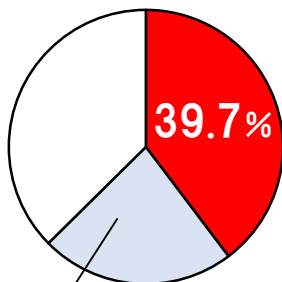
当社のマーケットシェア（2015年）

炭酸飲料、缶コーヒーなど多くの主要なカテゴリーでマーケットシェアNo.1

炭酸飲料

コカ・コーラ

当社:No.1

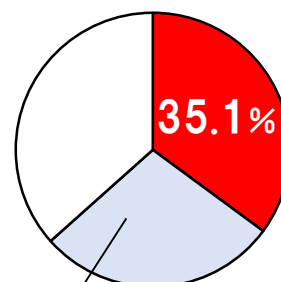


A社(2位) 22.9%

缶コーヒー

ジョージア

当社:No.1

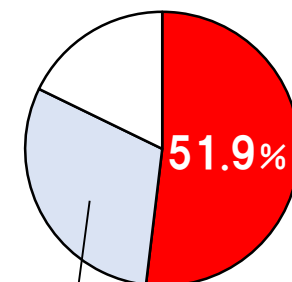


B社(2位) 28.3%

ブレンド茶

爽健美茶

当社:No.1

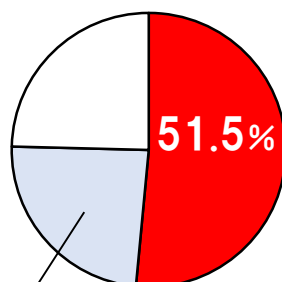


A社(2位) 30.3%

スポーツ飲料

アクエリアス

当社:No.1

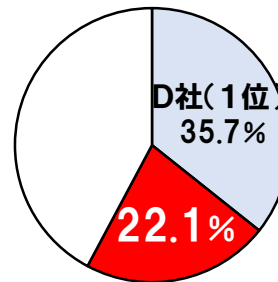


C社(2位) 23.9%

緑茶

綾鷹

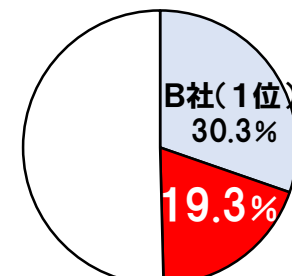
当社:No.2



ミネラルウォーター

いろはす

当社:No.2



自動販売機の消費電力量の削減、ノンフロン※¹化を推進

ピークシフト自販機

- ・ 冷却のための電力使用を、電力使用が「ピーク」となる日中から、比較的余裕がある夜間に「シフト」する自動販売機



ノンフロン

新型LED
照明

音が静か

早く冷える

人感センサー
搭載

年間消費
電力量削減

夏の日中に使用する
消費電力
最大時 $\Delta 95\%$ ※²

商品は冷えたまま
16時間
冷却運転を停止

環境配慮型自動販売機



省エネノンフロン型



ソーラーパネル搭載型

ノンフロン

LED照明
ヒートポンプ
(省エネ)

※¹ フロン：炭素、フッ素、塩素などの化合物の総称。
オゾン層破壊の原因物質、温室効果ガスとされている。

※² 2012年ノンフロンヒートポンプ自動販売機との比較

回収した空容器等のリサイクルを実施し、資源を有効活用

■ 空容器のリサイクル

■ 廃棄自動販売機のリサイクル

→ 飲料メーカー初の自社廃棄処理施設
（北九州さわやかリサイクルセンター）



北九州さわやかリサイクルセンター

<空容器のリサイクルフロー図>



「人も環境も、さわやかに。」をスローガンに、
地球環境保全を重要課題のひとつと認識し、持続可能な社会の発展に貢献

- 「さわやか自然の森」森林保全活動
- 環境教育支援活動
- 地域美化活動



「さわやか自然の森」森林保全活動



環境教育支援活動「学校環境教室」



地域美化活動

主要な販路である自動販売機を通じて、地域社会に貢献

地域社会を支援する「支援型自動販売機」

- ・売上金の一部を地域のみなさまの活動資金に充当
(2001年に飲料業界で初めて導入)



消防殉職者遺児支援
自動販売機

【主な分野】

- ・福祉支援
- ・まちづくり支援
- ・観光支援



犯罪被害者支援
自動販売機

- ・環境支援
- ・プロスポーツ支援

緊急時にも安心な「災害対応型自動販売機」

- ・災害時に自治体などが通信ネットワークを通して自動販売機を遠隔操作することで、飲料の無償提供、避難場所等の情報発信が可能



- ・福岡県大川市
- ・島根県安来市
- ・鳥取県大山町
- ・京都府 など

「地域とともに」の基本姿勢のもと、
青少年の健全育成の支援や、地域とのより密接なコミュニケーションを推進

- 社会福祉支援
- スポーツ活動支援
- 文化・教育活動支援



特別支援学校への教材贈呈



小学校への一輪車贈呈



クラシックコンサートの開催



ファミリーミュージカルの開催



“市村自然塾 九州”の運営

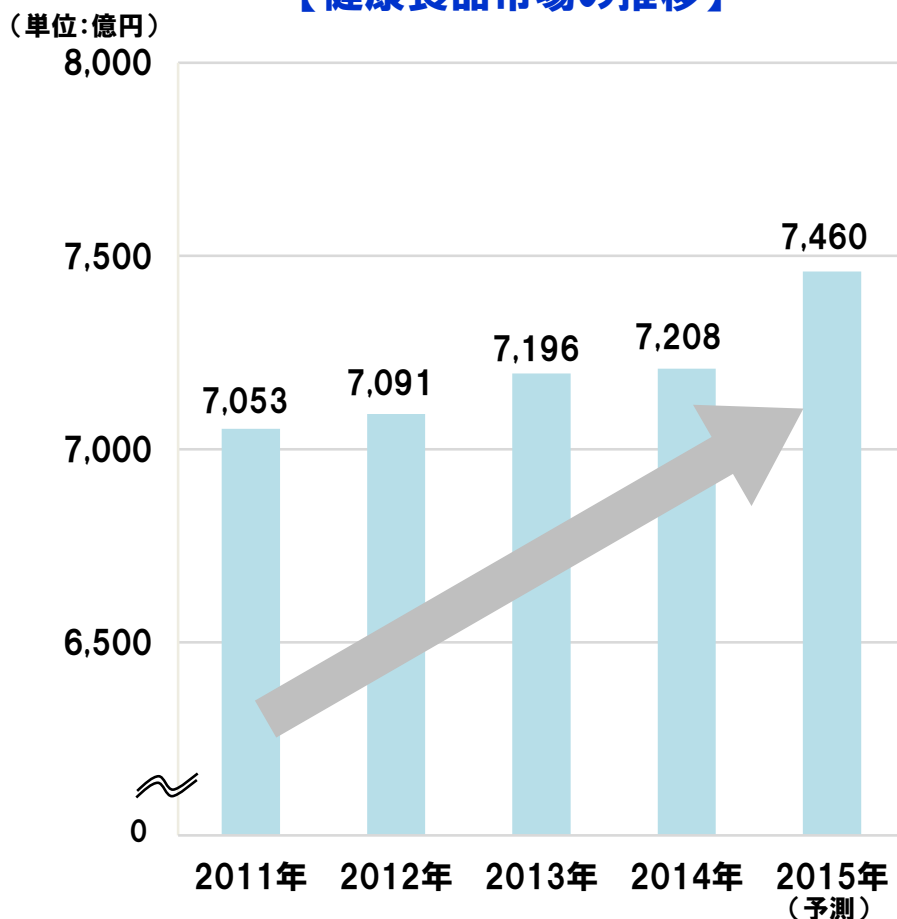


ラグビークリニック

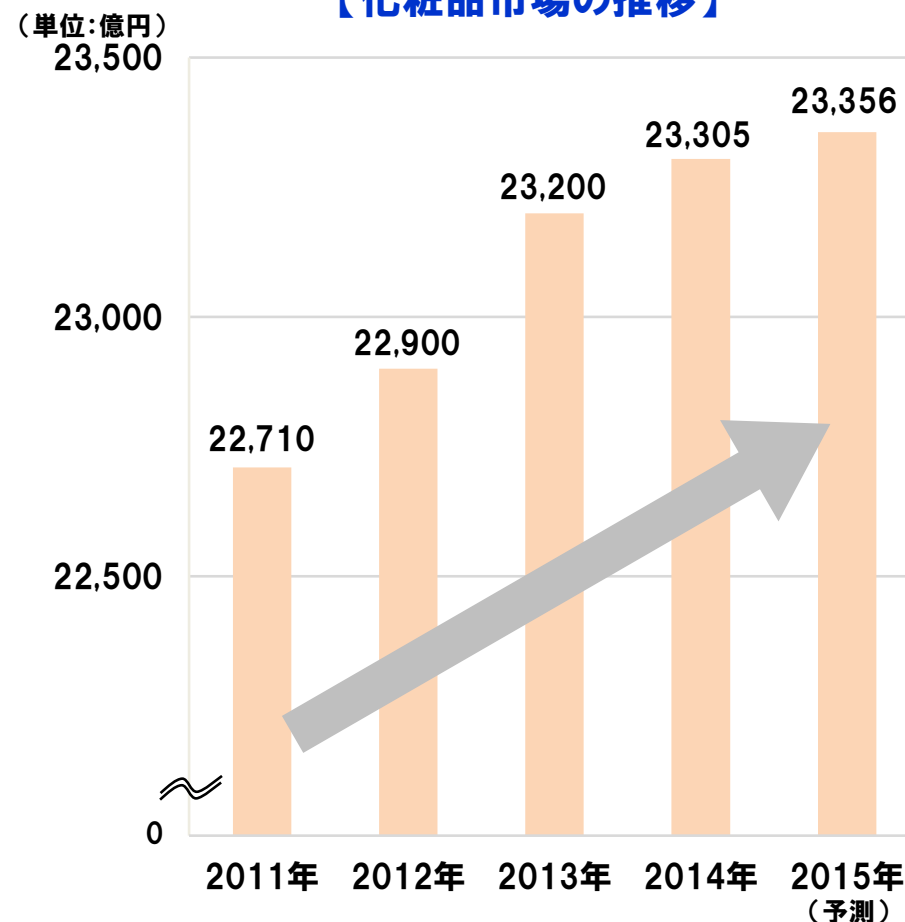
Ⅲ.ヘルスケア・スキンケア事業

キューサイグループがターゲットとする健康食品市場、化粧品市場は、
ともに成長し続けており、今後も成長が見込まれる。

【健康食品市場の推移】



【化粧品市場の推移】



ヘルスケア、スキンケアの各分野に主力商品を保有
 主要な販路は通信販売（売上高構成比：約9割）

【主要商品の売上高構成比（2015年）】

	ヘルスケア商品				スキンケア商品	
	健康食品		特定保健用食品			
商 品	 ケール青汁  畑の青汁	 機能性表示食品  ひざサポートコラーゲン	 グルコサミンZ	 豆鼓エキス	 ペプチドエース	 コラリッチシリーズ 他
売上高構成比	11%	25%	12%	6%	7%	34%

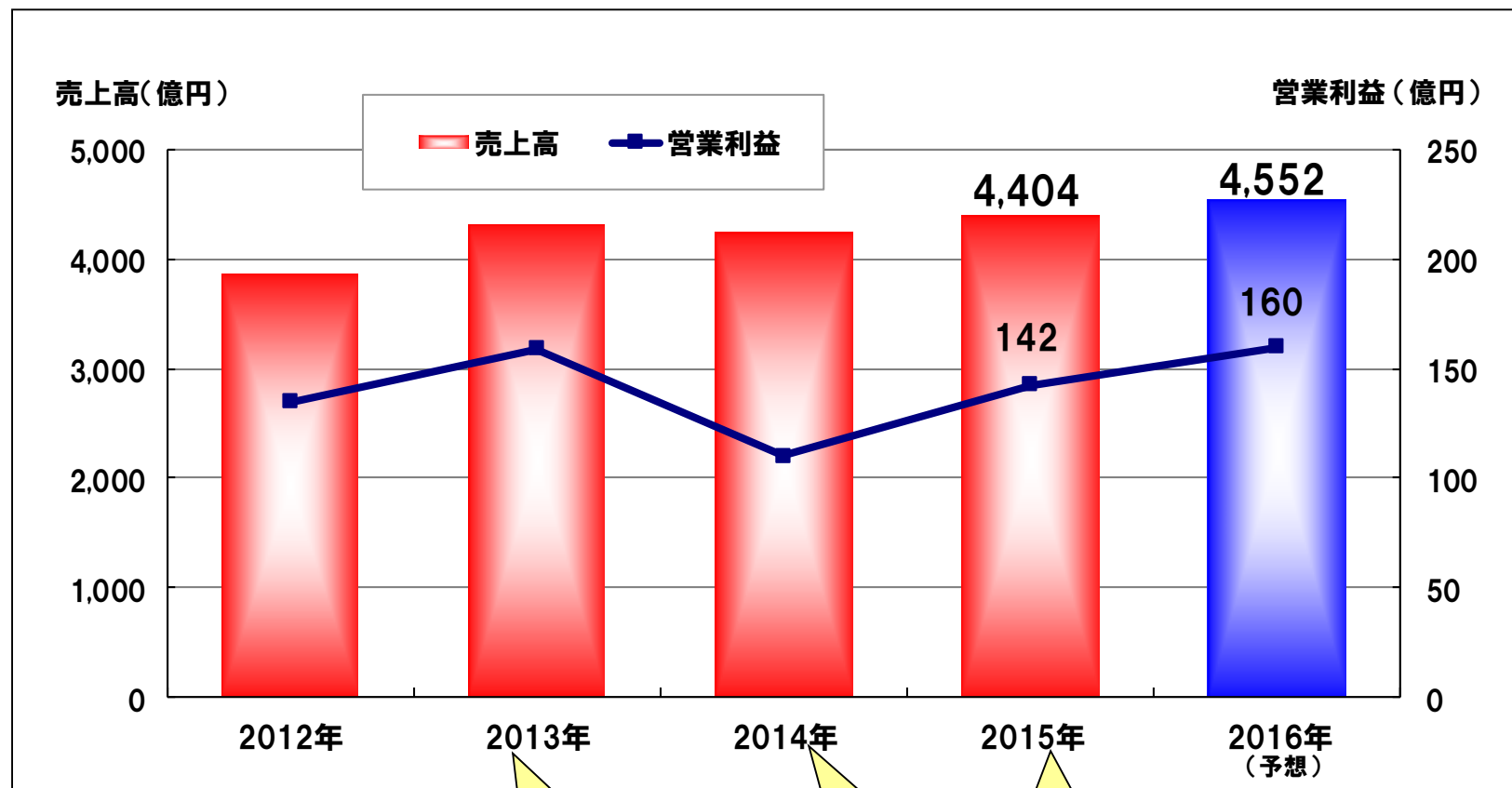
IV. 連結業績、配当・株主優待

〔2018年〕連結売上高5,000億円、連結営業利益210億円の達成を目指す。

(単位:億円)

	2015年 実績	2016年 計画	2018年		
			計画	対2015年増減	増減率(%)
売上高	4,404	4,552	5,000	+595	+13.5
コカ・コーラ事業	4,076	4,197	4,440	+363	+8.9
ヘルスケア・スキンケア事業	328	355	560	+231	+70.5
営業利益	142	160	210	+68	+47.2
コカ・コーラ事業	112	130	150	+38	+33.8
ヘルスケア・スキンケア事業	30	30	60	+30	+96.6
当期純利益(当社株主帰属)	99	88	130	+30	+30.4
売上高営業利益率 (%)	3.2	3.5	4.2	+1.0	-
自己資本当期純利益率(ROE) (%)	3.9	3.4	5.0 以上	+1.1 以上	-
総資産経常利益率(ROA) (%)	3.8	4.0	5.0 以上	+1.2 以上	-
純資産配当率(DOE) (%)	1.7	1.8	1.9	+0.2	-

持続的な成長・発展に向けて、経営統合・業務提携・M & Aを実施



1999年以降、
4ボトラーと統合

2010年10月
キューサイの株式100%取得

2013年4月1日
南九州コカ・コーラを
100%子会社化

2014年1月1日
南九州コカ・コーラと
合併

2015年5月18日
四国コカ・コーラを
100%子会社化

- ・ 良好な財務構成（自己資本比率 69％）
- ・ 格付け「安定的」

■ 連結貸借対照表（2015年12月末現在）

流動資産:41.8%	流動負債:14.8%
	固定負債:16.2%
固定資産:58.2%	純資産(自己資本):69.0%

主な科目

1年内返済予定の
長期借入金 : 25億円

社債 : 500億円
長期借入金 : 2億円

資本金 : 152億円
資本剰余金 : 1,090億円
利益剰余金 : 1,368億円

資産合計:3,781億円

負債純資産合計:3,781億円

■ 格付情報

日本格付研究所（JCR）長期優先債務格付（2015年11月30日現在）	AA-（安定的）
格付投資情報センター（R&I）発行体格付（2015年8月31日現在）	A+（安定的）

安定的かつ継続的な配当を利益還元の基本とする。
積極的な利益還元を行うこと、ならびに2016年の業績計画等を勧案し、1株につき1円増配(予定)。
加えて、記念配当として、1株当たり2円の配当を予定。

[1株当たり]

普通配当

中間配当金 21円 (+1円)

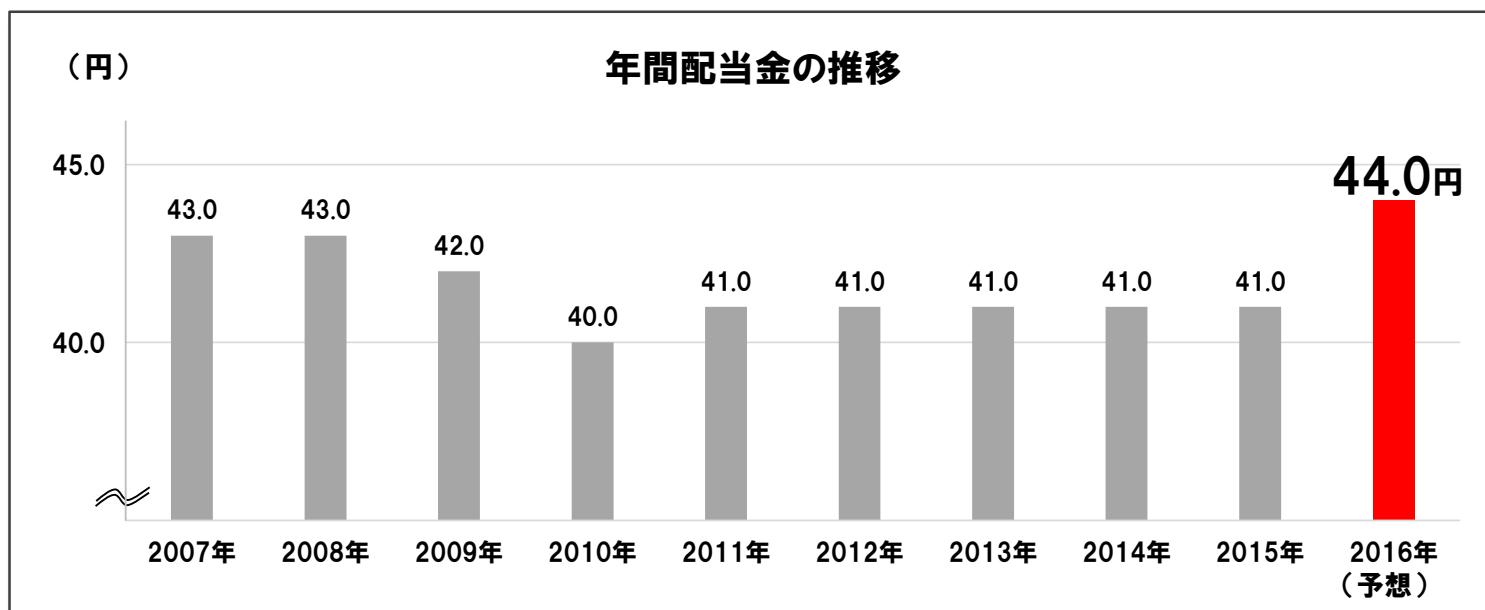
期末配当金 21円 (±0円)

記念配当※ 2円 (+2円)

合計 44円 (+3円)

()内は対前年増減

※ 2016年に、旧コカ・コーラウエスト
ジャパンと旧近畿コカ・コーラの
経営統合から10年の節目を迎える
ことを記念して記念配当を実施。



- ・ 12月末を基準日に、年1回株主優待ポイントを進呈。
- ・ コカ・コーラ社製品詰合せ、コカ・コーラウエストグッズ、寄付等から、保有株式数に応じて選べる制度。
- ・ また、3年以上の継続保有の株主さまに対し、追加ポイントを進呈。（長期保有優遇制度）

【株主優待 商品例】



コカ・コーラ社製品詰合せ



コカ・コーラウエストロゴ入りエコバッグセット
（＊デザインは変更になる場合があります。）



社会貢献活動への寄付
（市村自然塾 九州）

贈呈基準		優待内容			贈呈時期
基準日	ご所有株式数	保有期間：3年未満	長期保有優遇ポイント	保有期間：3年以上	
12月31日	100株以上 500株未満	45ポイント贈呈 （2,700円相当）	+30ポイント	75ポイント贈呈 （4,500円相当）	翌年3月下旬
	500株以上 1,000株未満	60ポイント贈呈 （3,600円相当）	+45ポイント	105ポイント贈呈 （6,300円相当）	
	1,000株以上 5,000株未満	90ポイント贈呈 （5,400円相当）	+60ポイント	150ポイント贈呈 （9,000円相当）	
	5,000株以上	180ポイント贈呈 （10,800円相当）	+120ポイント	300ポイント贈呈 （18,000円相当）	

■ ホームページ：個人投資家のみなさまのためのページ

コカ・コーラウエスト

検索

みんなの あしたに ハッピーを

Coca-Cola West

コカ・コーラウエスト 株式会社

個人投資家のみなさまへ - みんなの あしたに ハッピーを - コカ・コーラウエスト株式会社

f Facebook | ホーム | サイトマップ | English

文字サイズ

小 中 大

Q

会社情報

IR・投資家情報

CSR活動

製品情報

採用情報

ニュース一覧

イベント情報

お問い合わせ

ホーム > IR・投資家情報 > 個人投資家のみなさまへ

長期経営構想2020

決算情報

財務情報

株主・株式情報

個人投資家のみなさまへ

▶ トップメッセージ

▶ コカ・コーラウエストの特徴・強み

▶ 当社の株主になりませんか

▶ IRイベント

ディスクロージャーポリシー

よくあるご質問 (FAQ)

IRサイトマップ

個人投資家のみなさまへ

平素よりコカ・コーラウエストを
ご支援いただきまして誠にありがとうございます。

印刷する



トップメッセージ

個人投資家のみなさまへのメッセージで
す。



コカ・コーラウエストの特徴・強み
日本のコカ・コーラシステムをリードす
る世界で有数の規模を持つボトラー



当社の株主になりませんか

コカ・コーラウエスト株式会社にご関心
をお寄せいただき、誠にありがとうございます。



IRイベント

個人投資家説明会などを開催していま
す。

[注意事項]

本資料は事業内容等に関する情報提供を目的としています。当社株式への投資を推奨するものではありません。
また、本資料に掲載しております当社の計画および業績の見通し、戦略などは、資料作成時点において把握できる情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。

あくまでも将来の予測であり、下記に掲げております様々なリスクや不確定要素により、実際の業績と大きく異なる可能性がございますことを、予めご承知おきくださいますようお願い申し上げます。

- ・市場における価格競争の激化 ・事業環境をとりまく経済動向の変動 ・資本市場における相場の大幅な変動
- ・上記以外の様々な不確定要素